

【学校教育目標：自他を大切にし、自律できる八幡小の子どもを育てる】

観音竹



10月の目標
生活：友達と仲よくしよう
保健：目をたいせつにしよう
安全：安全に気をつけて運動をしよう

令和3年 10月号
R3. 10. 4発行

<http://eshachiman.synapse-blog.jp/hachimanes/>

幼・小・中・青

校長 濱元 弘

9月26日（日）第75回合同運動会を実施しました。開始前に降り出した雨を吹き飛ばし、青空を呼び込んだ子どもたちの気持ち。課題もありますが、それを大きく超え躍動する姿を私たちに見せてくれた子どもたち。「感動した！」の一言です。

さて、題の「幼・小・中・青」の四文字。皆さんは、何をイメージされるでしょうか。合同運動会の合同とは、八幡幼稚園と八幡小学校のことですが、この合同だけではないと実感した運動会でした。



「中学生のみなさん。みなさんの協力する姿は、きっと子どもたちの憧れとして、その姿は心に焼き付くことでしょう。」

と、役員としてお手伝いしてくれた中学生を開会のあいさつで紹介しました。そして、最初の競技の準備が始まった頃、さらに大きな存在に気づきました。

「青年団の方々も協力してくださっています。ご声援よろしく願います。」

と紹介させていただきました。すると、会場から青年団への拍手が起こりました。（何と素晴らしい校区でしょう。）

中学生は役員だけでなく、リレーに真剣に取り組んだり、屋久島音頭に参加していいのだと伝えると、喜んでグラウンドに飛び出し踊ったりしてくれました。青年団の方々は、大きな用具を黙々と機敏な動きで運び手伝ってくださいました。



「幼稚園、小学校、中学校の子どもたちが集い共に活動する合同運動会。他に類のない、とても意義のある運動会です。」

とあいさつしましたが、題にしたように、青年団も加わり「幼・小・中・青」合同運動会でした。会場設営、片付け、応援まで考えると、この四文字に「保」「地」が加わると思います。

このコロナ禍の状況で、感染対策をした上で力の限り競技した子どもたち。この知恵と工夫、協力を、予測困難な未来（社会）でよりよく生きていくために活かしてくれたらいいなと願っています。